

介護職員初任者研修テキスト

このテキストについて

- はじめに
- このテキストで学習する方のために
- 教科内容と執筆者

はじめに

わが国は、世界のどこの国も経験したことのない高齢社会に向かっていきます。75歳以上の後期高齢者数は2012年に約1,500万人ですが、「団塊の世代」（1947～1949年に生まれた人）が75歳に達する2025年には約2,100万人になると推計されています。

このような社会的背景から介護サービスを必要とする人の増加が見込まれ、また、介護サービスへのニーズも認知症ケア、医療的ケア、介護予防の推進など多様化・専門化してきています。このため、介護に関する高度な専門性を有する介護分野の人材育成が急務となっています。

厚生労働省は近年の多様化・高度化する介護ニーズに対応するため、新たな介護人材の養成体系をスタートさせました。具体的には、2012年度には実務者研修が導入されました。2013年度には、これまでのホームヘルパー2級研修が初任者研修に移行し、これまでのホームヘルパー1級研修、介護職員基礎研修は終了しました。そして、2013年度から介護人材の養成は、初任者研修と実務者研修によって行われています。

本テキストは2013年度からスタートした初任者研修のために編集したもので、指導要領に即した構成となっております。また、介護制度の改正内容も可能な限り盛り込み、イラストや事例を取り入れ、学んだことの「振り返り」もできるようになっています。本テキストが初任者研修を受講する皆様のお役に立つことができれば幸いです。

介護の専門家を目指す皆様が、初任者研修で介護の基本的な知識と技術を学び、将来は、より高度の知識・技術を習得し、質の高い介護サービスを提供できる専門家として福祉の担い手となれることを願ってやみません。

最後に本テキストの出版にあたり、初任者研修テキスト編集委員会の皆様、ならびに、執筆いただいた先生方、関係者の皆様のご協力に深く感謝申し上げます。

公益財団法人 介護労働安定センター

このテキストで学習する方のために

1. 基本コンセプト

作成の基本理念

- 1 在宅、施設の双方に共有できるような知識や介護技術を学べる内容としました。
- 2 介護分野に携わる人が初めて学ぶ研修テキストとして、わかりやすく理解しやすくなるように、イラストや図表・写真を配置しました。
- 3 事例から考えるという観点で展開例を取り入れ、介護技術を実践的に学べるような内容としました。
- 4 学んだ事を自己学習を通して整理できるように、各章の末尾に○×解答形式の問題を設けました。（「第1章 職務の理解」「第10章 振り返り」には、設けておりません。）
- 5 継続的に学習する上で重要な事項を理解できるように、単元の末尾に「今後の学習のためのキーワード」を設けました。
- 6 厚生労働省の「介護員養成研修の取扱細則（介護職員初任者研修関係）」に則った内容・構成としました。（平成24年3月28日 厚生労働省老健局振興課通知）
- 7 「障害」を表現する用語として、「障がい・^{しょうがい}障碍」を用いる場合がありますが、本書では、法令との整合性を図る観点から、「障害」を用語として用いることとしました。

2. テキストの主な構成

テキストの内容項目

本テキストは以下の1から7の大きな項目となっておりますが、章立ては、10の章となっております。

- 1 職務の理解
- 2 介護における尊厳の保持・自立支援、介護の基本
- 3 介護・福祉サービスの理解と医療との連携
- 4 介護におけるコミュニケーション技術
- 5 老化・認知症・障害の理解
- 6 こころとからだのしくみと生活支援技術
- 7 振り返り

3. テキストの体裁

全体を4分冊に分け、カテゴリーごとの学習を容易にし、また、各分冊ごとに索引を設け、相互参照を行いやすくし、持ち運びしやすくしました。

分冊の中には章と節に分かれており、学習の基本単位である「単元」は「学習の手引き」、「解説」と「今後の学習のためのキーワード」から成り立っています。

章の末尾には○×解答形式の問題を設け、理解の確認に役立つようになっています。

索引は分冊ごとに設けています。

4. テキスト編集委員会

専門的見地からテキストを作成する為に編集委員会を設置し、各分野の専門家の目でテキストの内容を検討していただきました。

5. その他

今後、介護保険法の改正等を含む内容の補てん・追記があれば、下記の(公財)介護労働安定センター ホームページに随時掲載いたします。

(公財)介護労働安定センター ホームページ <http://www.kaigo-center.or.jp/>

介護職員初任者研修テキスト編集委員会委員名簿

	氏名	所属・役職
編集委員	是枝 祥子	大妻女子大学名誉教授
編集委員	鈴木 眞理子	社会福祉法人奉優会理事
編集委員	高橋 龍太郎	元東京都健康長寿医療センター研究所副所長
編集事務局	(公財)介護労働安定センター能力開発課	

(50音順)

教科内容と執筆者

分冊 番号 名称	章名	節名	単元名	執筆者名
1 理念と基本	第1章 職務の理解	第1節 介護職の仕事と働く現場の理解	1 多様なサービスと介護職の仕事	石橋 智昭 ((公財)ダイヤ高齢社会研究財団 研究部長)
			2 キャリアパスの資格取得要件	
	第2章 介護における 人権・自立支援	第1節 人権と尊厳を支える介護	1 人権と尊厳の保持	鈴木 真理子 (社会福祉法人奉優会理事)
			2 ICF (国際生活機能分類)	是枝 祥子 (大妻女子大学名誉教授)
			3 QOL (生活の質)	鈴木 真理子 (社会福祉法人奉優会理事)
			4 ノーマライゼーション	小川 孔美 (埼玉県立大学保健医療福祉学部 社会福祉子ども学科講師)
			5 虐待予防・身体拘束禁止	
			6 個人の権利を守る制度の概要	
	第2節 自立に向けた介護	1 自立支援	佐藤 富士子 (大妻女子大学人間関係学部 人間福祉学科教授)	
		2 介護予防		
	第3章 介護の基本	第1節 介護職の役割、専門性と多職種との連携	1 介護環境の特徴	是枝 祥子 (大妻女子大学名誉教授)
			2 介護の専門性	
			3 介護に関わる職種	
		第2節 介護職の職業倫理	1 介護職の職業倫理	香取 幹 (株)やさしい手 代表取締役社長)
			2 介護における安全の確保	
		第3節 介護における安全の確保とリスクマネジメント	2 事故予防、安全対策	竹田 幸司 (田園調布学園大学人間福祉学部 社会福祉学科講師)
			3 緊急時に必要な知識と対応方法	
		第4節 介護職の安全	4 感染症対策	山中 健次郎 (順天堂大学医学部 附属順天堂越谷病院内科教授)
1 介護職の心身の健康管理	鳧末 憲子 (埼玉県立大学保健医療福祉学部 社会福祉子ども学科准教授)			
2 制度の理解	第4章 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	第1節 介護保険制度等	1 介護保険制度創設の背景と目的・動向	石橋 智昭 ((公財)ダイヤ高齢社会研究財団 研究部長)
			2 介護保険制度の仕組みと基礎的理解	
			3 介護保険制度の財源、組織・団体の機能と役割	
			4 医療保険制度の概要	君和田 豊 (君和田社会保険労務士事務所代表)
			5 年金保険制度の概要	

分冊 番号 名称	章名	節名	単元名	執筆者名
2 制度の理解	第4章 介護・福祉サービスの理解と医療との連携	第2節 医療との連携とリハビリテーション	1 高齢者の服薬と留意点	佐藤 富士子 (大妻女子大学人間関係学部 人間福祉学科教授)
			2 経管栄養、吸引、吸収、浣腸など	
			3 健康チェック	
			4 訪問看護	
			5 リハビリテーション医療の意義と役割	
			6 リハビリテーション医療の過程	
	第3節 障害者総合支援制度とその他の制度	1 制度創設の理念・背景と目的	高木 憲司 (和洋女子大学生活科学系 家政福祉学研究室准教授)	
		2 制度の仕組みと基礎的理解		
		3 個人の権利を守る制度の概要		
	第5章 介護における コミュニケーション技術	第1節 介護におけるコミュニケーション	1 コミュニケーションの意義と目的、役割	鈴木 真理子 (社会福祉法人奉優会理事)
			2 コミュニケーションの手段と技法	
			3 利用者・家族への対応の基礎知識	
4 利用者・家族への対応の実際				
5 利用者の状況・状態に応じた対応				
第2節 介護におけるチームのコミュニケーション		1 記録による情報の共有化	新井 仁子 (横浜市福祉サービス協会 神奈川介護事務所所長)	
2 報告・連絡・相談				
3 コミュニケーションを促す環境				
3 老化・認知症・障害の理解	第6章 老化の理解	第1節 老化に伴うところからだの変化と日常	1 老年期の発達と心身の変化の特徴	永嶋 昌樹 (日本社会事業大学通信教育科助教)
			2 心身の機能の変化と日常生活への影響	
			I 老化に伴う心身の機能の変化	
			II 身体的変化	
			2 心身の機能の変化と日常生活への影響	
			III 心理的变化	
	第2節 高齢者と健康	1 高齢者の疾病（老年症候群）と生活上の留意点（外科系）	大淵 修一 (東京都健康長寿医療センター 高齢者健康増進事業支援室研究部長)	
		2 高齢者に多い病気と生活上の留意点（内科系）		
	第7章 認知症の理解	第1節 認知症を取り巻く状況	1 認知症ケアの理念	伊東 美緒 (東京都健康長寿医療センター 研究所研究員)
		第2節 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1 認知症の概念と原因疾患・病態	
		第3節 認知症に伴うところからだの変化と日常生活	2 原因疾患別ケアのポイントと健康管理	藤本 直規 (医療法人藤本クリニック理事長)
			1 生活障害、心理・行動の特徴	
第4節 家族への支援	2 利用者への対応	伊東 美緒 (東京都健康長寿医療センター 研究所研究員)		
1 家族との関わり方				

分冊 番号 名称	章名	節名	単元名	執筆者名	
3 老化・認知症・障害の理解	第8章 障害の理解	第1節 障害の基礎的理解	1 障害の概念とICF（障害者福祉の基本理念）	高木 憲司 (和洋女子大学生活科学系 家政福祉学研究室准教授)	
		第2節 障害の医学的側面の基礎的知識	1 肢体不自由（身体障害）	浅川 康吉 (首都大学東京健康福祉学部 理学療法学科教授)	
			2 内部障害	高岡 徹 (横浜市総合リハビリテーション センター副センター長)	
			3 視覚障害・聴覚障害		
			4 音声・言語・咀嚼機能障害		
			第3節 家族の心理の理解、かかわり支援の理解	5 精神障害	太田 深雪 (公立陶生病院精神科主任部長)
				6 統合失調症	
				7 躁うつ病等	
				8 神経症性障害（神経症）	高見 悟郎 (杵ヶ池メンタルクリニック院長)
				9 アルコール依存症	
				10 知的障害	小澤 武司 (東戸塚こども発達クリニック院長)
				11 発達障害	
				12 ダウン症	
第3節 家族の心理の理解、かかわり支援の理解	13 高次脳機能障害			高岡 徹 (横浜市総合リハビリテーション センター副センター長)	
	1 家族の心理・かかわり支援の理解	鈴木 真理子 (社会福祉法人奉優会理事)			
4 技術と実践	第9章 こころとからだのしくみと生活支援技術	第1節 基本知識の学習（介護の基本的な考え方）	1 介護の基本的な考え方	是枝 祥子 (大妻女子大学名誉教授)	
		第2節 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	1 学習と記憶に関する基礎知識	永嶋 昌樹 (日本社会事業大学通信教育科助教)	
			2 感情と意欲に関する基礎知識		
			3 自己概念と生きがい		
			4 老化や障害を受け入れる適応行動と阻害要因		
		第3節 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	1 健康チェックとバイタルサイン	山中 健次郎 (順天堂大学医学部 附属順天堂越谷病院内科教授)	
			2 骨・関節・筋肉に関する基礎知識	高橋 龍太郎 (元東京都健康長寿医療センター 研究所副所長)	
			3 中枢神経系と体性神経に関する基礎知識		
			4 自律神経と内部器官に関する基礎知識		
		第4節 生活と支援技術	1 生活と家事	鈴木 真理子 (社会福祉法人奉優会理事)	
			2 家事援助の基礎知識と生活支援		
			3 家事援助の技法（調理・洗濯・掃除等）	井上 典代 (相模女子大学短期大学部 食物栄養学科准教授)	
			4 ベッドメイキングの必要な基礎知識と方法	浅野 いずみ (目白大学人間学部人間福祉学科 専任講師)	

分冊 番号 名称	章名	節名	単元名	執筆者名
4 技術と実践	第9章 こころとからだのしくみと生活支援技術	第5節 快適な居住環境整備と介護	1 快適な居住環境に関する基礎知識	金沢 善智 (介護環境研究所 代表) 内藤 茂順 (内藤事務所所長・元(株)やさしい手副社長) 岡部 雄二 (株)やさしい手 住環境事業部 部長
			2 介護保険による住宅改修	
			3 福祉用具に関する基礎知識	
		第6節 整容に関するこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1 整容に関する基礎知識	菅野 衣美 (元大妻女子大学人間関係学部人間福祉学科助教(実習担当))
			2 整容の支援技術	
		第7節 移動に関するこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1 移動・移乗に関する基礎知識	藤江 慎二 (国際医療福祉大学医療福祉学部医療福祉・マネジメント学科専任講師)
			2 移動・移乗のための用具と活用方法	
			3 負担の少ない移動・移乗と支援方法	
			4 移動と社会参加の留意点と支援	
		第8節 食事に関するこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1 食事に関する基礎知識	佐々木 宰 (社会福祉法人浴風会 認知症介護研究・研修東京センター 研究企画主幹)
			2 食事環境の整備と用具の活用方法	
			3 楽しい食事を阻害する要因と支援方法	
	4 食事と社会参加の留意点と支援			
第9節 入浴と清潔保持に関するこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1 入浴と清潔保持に関する基礎知識	金 美辰 (大妻女子大学人間関係学部人間福祉学科准教授)		
	2 入浴と整容の用具の活用方法			
	3 楽しい入浴を阻害する要因と支援方法			
第10節 排泄に関するこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1 排泄に関する基礎知識	青柳 佳子 (浦和大学短期大学部介護福祉科特任教授)		
	2 排泄環境の整備と用具の活用方法			
	3 爽快な排泄を阻害する要因と支援方法			
第11節 睡眠に関するこころとからだのしくみと自立に向けた介護	1 睡眠に関する基礎知識			
	2 睡眠環境と用具の活用方法			
	3 快い睡眠を阻害する要因と支援方法			
第12節 死にゆく人に関するこころとからだのしくみと終末期介護	1 終末期に関する基礎知識	島田 千穂 (東京都健康長寿医療センター 研究所研究副部長)		
	2 生から死への過程とこころの理解			
	3 苦痛の少ない死への支援と他職種との連携			
第13節 生活支援技術演習	1 介護過程の基礎的理解	佐藤 富士子 (大妻女子大学人間関係学部人間福祉学科教授)		
	2 総合生活支援技術演習(事例による展開)		佐藤 富士子 他	
第10章 振り返り	第1節 振り返り	1 事務所等におけるOJT・Off-JT	巖末 憲子 (埼玉県立大学保健医療福祉学部社会福祉子ども学科准教授)	
		2 振り返りの課題		